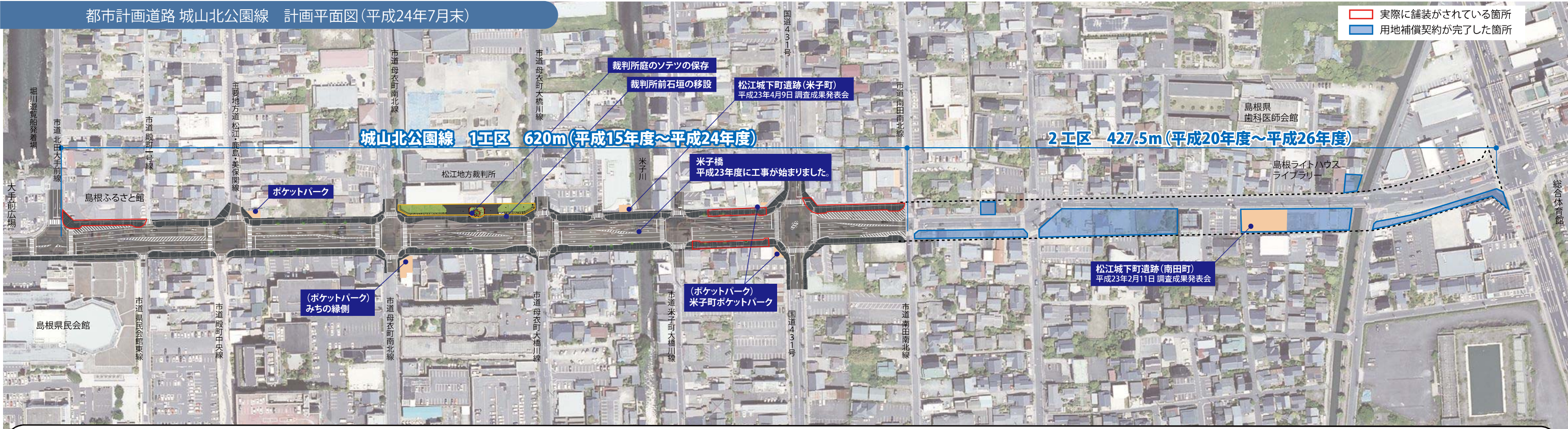


城山北公園線事業近況報告

都市計画道路 城山北公園線 計画平面図(平成24年7月末)

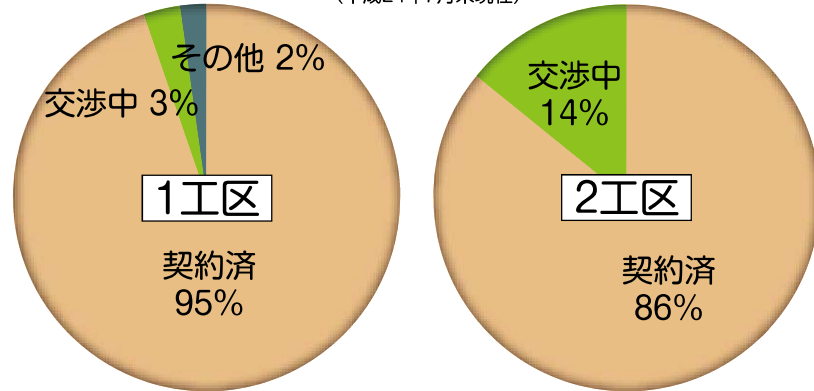


2工区の用地交渉を進めています。

城山北公園線の2工区は、平成20年12月に事業認可を受けた、市道 南田南北線との交差点からくにびき道路までの延長427.5mの区間です。

事業認可後、平成20年度から測量・調査、工事・用地補償にかかる事業説明等を行い、用地取得の交渉を沿道の地権者の皆様と進めています。

用地補償(契約状況)
(平成24年7月末現在)



※「交渉中」には、契約について合意をいただいている方も含まれます。

松江城下町遺跡発掘調査の現地説明会が開催されました。



出土品の説明の様子
陶磁器、古銭、キセル、土人形などの当時の生活用品が多く出土した。



お守りとして身につけていたと思われる穴の空いた古銭

2工区では、事業認可後、用地調査や遺跡調査を進めております。

2月11日には南田町の店舗跡地で、大手前通り拡幅に伴う松江城下町遺跡発掘調査の現地説明会が松江市教育委員会主催により開催されました。

発掘現場は、絵図や文献によると、松平期(1638年以降)に大橋家と縁故のある者(大名または有力武將に従う下級武士のこと)として採用し大橋家を中心とする家田団を組織し、この地に与力屋敷を構えていたようです。

遺構からは、畑の畝、島石の建物基礎があったことが分かり、17世紀後半以降の陶磁器、古銭、キセル等の生活用品が出土しました。中でも、基礎石間の土層から出土した「寛永通宝」の一枚には、文字の横4箇所が空けられており、穴の開いた通貨が出土するのは全国的に珍しく、お守りなどで身につけていたようです。

現地説明会には、市内他近隣から約200名の参加がありました。

くにびき道路周辺から2工区の工事に着手しています。

城山北公園線2工区は、平成20年12月に事業認可を受けており、平成26年度供用予定で事業を進めています。事業認可以降、測量・調査、工事・用地補償にかかる事業説明等を行ってきました。

用地交渉についても地権者の皆様のご理解により平成24年3月末現在で79%の契約を頂き、工事着手の条件が整った国道485号くにびき道路交差点付近から工事に着手しています。

くにびき道路交差点付近は、工事範囲が現況の歩道の外側に位置していますので、歩行者等への交通への影響は最小限になると考えていますが、安全確保や近隣への影響に配慮して工事を進めます。



現況のくにびき道路交差点付近